

岐阜県リニア中央新幹線建設工事安全対策専門家会議

議事要旨

1. 日 時：令和6年9月16日（月） 18：00～19：20

2. 開催方法：オンライン

3. 出席者

(1) 委員 砂金委員、木村委員、進士委員、真下委員、水野委員

(2) 事業者 JR東海 不破担当部長、加藤所長、藤村担当課長

(3) 県 都市公園・交通局長、リニア推進課長

4. 次第

(1) 建設工事の安全対策に係るこれまでの取組状況

(2) 事案概要説明

(3) 意見交換

5. 意見交換要旨

<肌落ちについて>

- ・起きたことをはっきりさせるため、現場の切羽等の状況を把握できるよう、映像レコーダーなど最新の技術の導入も検討しつつ、記録をしっかりと残しておくことよい。

<事故防止対策について>

- ・切羽の肌落ちは起きるものとして現場の安全対策を考えることが必要。
- ・直前の切羽の観察状況だけでなく、何段階か手前の観察状況も踏まえて切羽の安定性を判断し、その結果を現場の作業員間で確実に取り次いでいくことが必要。
- ・今回新たに装薬作業の手順を追加し明確にされるとのことであり、切羽観察の際に肌落ちを見つけやすくなるのではないか。
- ・現場の作業員への作業手順の周知・徹底については、丁寧に取り組んでいくことが必要。
- ・作業手順どおり行われていることを、責任をもって誰がどのように確認・指導するのか役割と方法を明確にしておくことよい。